保証とアフターサービス

1 この商品には保証書がついています。

保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保管してください。

2 保証期間はお買い上げの日から1年間です。

保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

3 保証期間後の修理は・・・

販売店または当社サービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。

注）補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

この商品についてのご質問は

株式会社 シー・シー・ピー サービスセンター

TEL.03-3527-8899　FAX.03-3527-8956

営業日：月曜～金曜（但し、祝日は除きます）お電話受付時間 9：30～17：00

〒135-0064 東京都江東区青海3丁目2番17号
ワールド流通センターA棟 ユニエックス倉庫内

愛情点検	長年ご使用のコーヒーメーカーの点検を!
	このような症状はありませんか? ●ボタンを押しても、ときどき運転しないことがある。 ●本体が変形したり、異常に熱い。 ●こげくさい臭いがする。 ●その他の異常、故障がある。 ▶ このような症状のときは、事故防止のため、ただちにご使用を止めていただき、必ず販売店または当社サービスセンターに点検をご相談ください。

株式会社 シー・シー・ピー　本 社：〒111-0043　東京都台東区駒形2-5-4

OM0

キリトリ線

全自動ミル付きコーヒーメーカー 保証書

持込修理

品　番		BZ-MC81		
お客様	お名前	様		
	ご住所	〒		
		電話番号（　　　）　　－		
お買い上げ日	年　月　日		取扱販売店	住所･電話番号 ☎　　㊞
保証期間	お買い上げ日より 1年	対象部分 本体 消耗部品は除く		

本書はお買上げの日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。
詳細は裏面をご参照ください。

株式会社 シー・シー・ピー
〒111-0043
東京都台東区駒形2-5-4

取扱説明書

保証書付

全自動ミル付きコーヒーメーカー

品番 BZ-MC81

このたびはお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

◎ご使用の前に
安全上のご注意 –必ず守ってください– ---- 2
使用上のご注意 ---- 5
各部のなまえ ---- 6
本体内部の洗浄方法 ---- 7

◎使いかた
ホットコーヒーの作りかた ---- 9
アイスコーヒーの作りかた ---- 13

◎お手入れ
お手入れ ---- 14

◎困ったときに
故障かな！？と思ったら ---- 16
仕 様 ---- 17
消耗品/交換部品 ---- 18
保証とアフターサービス ---- 巻末
（保証書） ---- 巻末

家庭用

この商品を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源・電圧が異なりますので使用できません。
This unit cannot be used in foreign countries as designed for Japan only.

安全上のご注意 －必ず守ってください－

ご使用の前に、この「安全上のご注意」を必ずお読みください。

◎ここに示した注意事項は、本商品を安全に正しくお使いいただき、あなたやほかの人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。必ず守ってください。

誤った使いかたをしたときに生じる危険や損害の程度を表わす図記号です。

危険	「人が死亡または重傷を負う危険性が切迫して生じることが想定される内容」を表わしています。
警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を表わしています。
注意	「傷害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される内容」を表わしています。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない**「禁止」**の内容を表わしています。		必ず実行していただく**「強制」**の内容を表わしています。

⚠警告

使用禁止
こどもだけで使用させたり、遊ばせたりしない。また、幼児の手の届く範囲で使用しない
感電やけが、やけどの原因になります。

禁止
本体のすき間にピンや針金などの異物を入れない
感電やけが、火災の原因になります。

使用禁止
電源コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。

使用禁止
交流100V以外では使用しない
火災・感電の原因になります。

水ぬれ禁止
本体、差し込みプラグ、電源コードに水をかけたりしない
ショート・感電・火災の原因になります。

プラグを抜く
異常時（焦げくさいなど）は、運転を停止して差し込みプラグを抜く
異常のまま運転を続けると火災や感電の原因になります。運転を停止してお買い上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。(⇒巻末参照)

接触禁止
ドリップ中は各ふたを開けたり高温部に触れたり顔などを近づけたりしない
やけどの原因になります。

ぬれ手禁止
ぬれた手で、差し込みプラグを抜き差ししない
感電の原因になります。

プラグを抜く
お手入れの際は必ず差し込みプラグをコンセントから抜く
感電やけが、やけどの原因になります。

禁止
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

分解禁止
改造はしない。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。(⇒巻末参照)

禁止
流し台など水にぬれやすい場所には置かない
感電・漏電・火災の原因になります。

使用禁止
取扱説明書に記載以外の用途に使用しない
内容物が吹き出すなどおもわぬ事故や、やけど・けがの原因になります。

禁止
電源コードや差し込みプラグが破損した状態でコーヒーメーカーを使用しない
使用中に破損を見つけたときは、直ちに使用をやめ、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。
電源コードや差し込みプラグの破損については、感電またはけがのおそれがあるため当社サービスセンターにご連絡いただき、修理交換してください。(⇒巻末参照)

⚠注意

禁止
不安定な場所には置かない
落下してけがの原因になります。

禁止
高温の場所や火気の近くでは使用しない
変形・故障の原因になります。

プラグを抜く
差し込みプラグを抜くときは電源コードを持たずに、必ず先端の差し込みプラグを持って引き抜く
電源コードが劣化してショートや発火の原因になります。

プラグを抜く
使用時以外は、差し込みプラグをコンセントから抜く
感電・漏電・火災の原因になります。

禁止
ドリップ中やガラスサーバーをセットした状態で本体を移動させない
本体やガラスサーバーの落下などによりやけど・けがの原因になります。

使用禁止
人がよく通るところで使用しない
ぶつかったり、電源コードにひっかかったりして本体が落下し、けがや故障の原因になります。

禁止
壁や家具の近くで使用しない
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。

禁止
空焚き（給水タンクに水を入れずに電源を「ON」にする）はしない
空焚きの状態で給水タンクに水を入れると、蒸気が吹き出してやけどや本体の変形の原因になります。

禁止
コーヒー抽出中はガラスサーバーをはずさない
コーヒーがこぼれてまわりを汚したり、やけどの原因になります。

禁止
付属のガラスサーバー以外は使用しない
コーヒーがこぼれてまわりを汚したり、やけどの原因になります。

禁止
お湯は使用しない
途中でドリップが停止する原因になります。

禁止
海外では使用しない
故障、発火の原因になります。

プラグの点検
ときどきはコンセントや電源コード、差し込みプラグの点検を行なう
コンセントにほこりがたまっていると湿気が加わることで電流が流れ、火災の原因になることがあります。差し込みプラグがはずれかけていたり、破損したりしている場合は特に危険です。

◆おもわぬ事故を防ぐために・・・
- ●コンセントのまわりにほこりをためないようときどき掃除をする。
- ●差し込みプラグがしっかりと差し込まれているか確かめる。
- ●コンセントや差し込みプラグに異常がないか確かめる。
- ●電源コードの損傷を見つけた場合は直ちに使用を中止し、当社サービスセンターへご連絡ください。(⇒巻末参照)

単独で使用
定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使用する
感電・火災の原因になります。

禁止
お手入れする際は、金属製のへラ、ナイロンたわし、みがき粉など固いもの、傷をつけるおそれのあるものでこすらない
まれに自然破損する原因になります。割れ・欠け・ひびなどが発生したら使用を中止してください。

禁止
ガラスサーバーにコーヒーを入れたまま、長く放置しない
腐敗や変質の原因になります。

⚠注意

禁止

本商品に強い衝撃を与えない
高温の蒸気の吹き出し・ガラスサーバーの破損・ショート・感電・故障の原因になります。

禁止

ガラスサーバーは電子レンジや直火で使用しない
ガラスサーバーが破損し電子レンジやコンロなどが故障する原因になります。また熱により部品が変形し、コーヒーがこぼれてまわりを汚したり、やけどの原因になります。

禁止

ガラスサーバーが熱いうちに冷たいものを入れたり、水をかけたりしない
破損の原因になります。

禁止

ガラスサーバーを冷凍庫には入れない
破損・変形の原因になります。

禁止

ガラスサーバーは積み重ねて保管しない
破損やはずれなくなったり、ガラスが割れけがをする原因になります。

使用禁止

お手入れの際は食器洗浄機は使用しない
破損・変形の原因になります。

必ず守る

ガラスサーバーを確実にセットしてから電源を「ON」にする
コーヒーがこぼれてまわりを汚したり、やけどの原因になります。

禁止

ガラスサーバーの中に金属製品（スプーン、マドラーなど）を入れない
傷や破損の原因になります。

禁止

急激な温度変化（急冷・急加熱）を与えない
破損・変形の原因になります。

必ず守る

お手入れや続けて使用する際は、本体が冷めるまで（約10分間）待つ
使用直後にふたを開けたり、本体を動かすと蒸気が吹き出してやけどの原因になります。

必ず守る

本商品を廃棄するときは、地域の行政・自治体の指示にしたがい、適切な方法で廃棄する

使用禁止

本商品は家庭用です。通常の使用以外の目的や業務用として使用しない
破損・変形の原因になります。

使用上のご注意

けがや故障などを防ぐために、必ずお守りください

- **本商品は家庭用のコーヒーメーカーです。故障の原因となりますので、業務用としては使用しないでください。**

お願い

- **安全上のご注意をよくお読みください。（⇒2～4p参照）**
  本商品を安全にお使いいただき、あなたやほかの方への危害や損害を未然に防止するための安全に関する重要な内容ですので、必ずよくお読みください。
- **定期的にお手入れをしてください。（⇒14～15p参照）**
  汚れたままで使用を続けると、コーヒーメーカーとしての性能が発揮できなくなるだけでなく故障・不衛生の原因になりますので、ご使用のたびにお手入れしてください。

給水タンクに水以外のもの（お湯、牛乳など）を入れて使用しない
変形・故障の原因になります。

多湿で水がかかるおそれがあるところ・火気の近くや高温となる場所で使用しない
感電・火災・故障・変形・変色の原因になります。

同梱の付属品以外は使用しない
けが・故障の原因になります。

運転中に差し込みプラグを抜かない
感電・故障・変形・変色の原因になります。

適量以上の水は入れない
給水タンクに水を入れすぎると、オーバーフロー穴から水が流出します。

給水タンクに水を入れたまま放置しない
故障や変色・においの原因になります。

本体にふきんなどをかぶせて使用しない
変形の原因になります。

コーヒー豆・粉を適量以上入れない
本体内でコーヒーがあふれる原因になります。

コーヒー粉は粗挽き・中挽きなど本商品に適したものを使用する
細挽きのコーヒー粉を使用すると、フィルターが詰まり、本体内であふれたり、ガラスサーバーのコーヒーに粉が混入する原因になります。

お手入れの際に金属製のヘラ・ナイロンたわし・みがき粉などを使用しない
傷つける原因になります。

お手入れの際は、40℃以上のお湯は使用しない
変形・破損の原因になります。

本体を食洗機に入れたり、水に浸したりしない
故障・誤作動の原因になります。

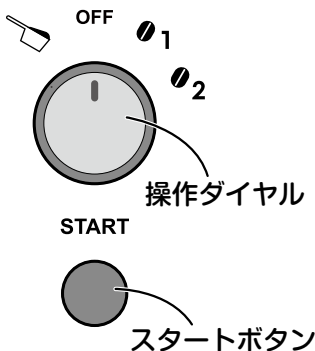
各部のなまえ

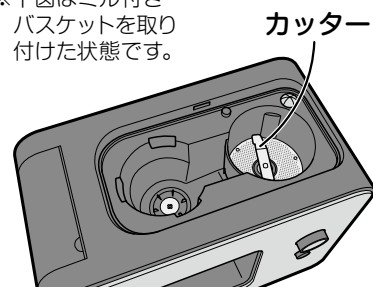
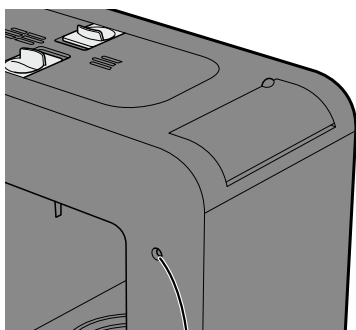
本 体

LEDライト

赤色	ドリップ中・保温中
青色	「●1」・「●2」を選択し、ミル動作中

操作部

種類	使用内容	
(粉)	コーヒー粉からドリップする LED:赤	
OFF	電源をOFFにする	
●1	コーヒー豆(1～2杯分)からドリップする LED:青→赤	保温終了→消灯(ピーピー音)
●2	コーヒー豆(3～4杯分)からドリップする LED:青→赤	

本体内部

※下図はミル付きバスケットを取り付けた状態です。

本体背面

給水タンクに水を入れすぎるとオーバーフロー穴から水が流出します。(⇒7,10p参照)

付属品

ご使用の前に

本体内部の洗浄方法

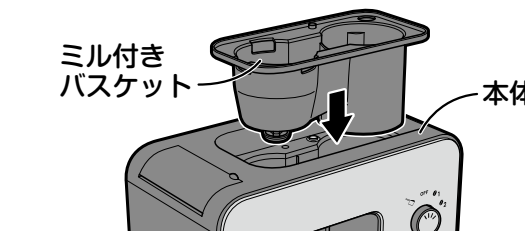
Point 本商品をはじめてお使いになるときやしばらく使わなかった場合、下記の洗浄方法で本体内部を洗浄してください。

1 操作ダイヤルを「OFF」にする

差し込みプラグがコンセントに差し込まれていないことと、本体の操作ダイヤルが「OFF」になっているか確認してください。

2 ミル付きバスケットをセットする

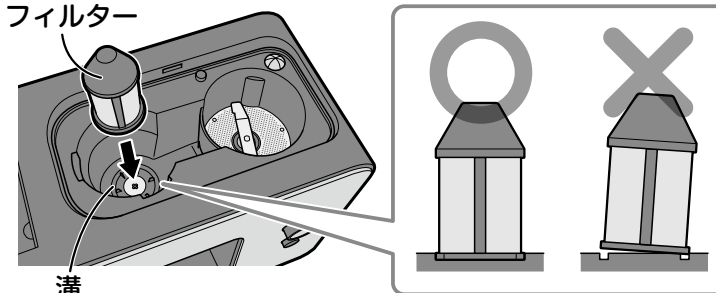
ミル付きバスケットを本体にセットしてください。

⚠注意

ミル付きバスケットを必ず取り付ける

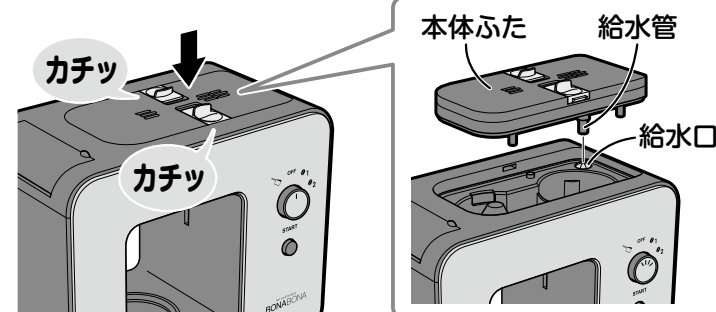
本体内に水が漏れ、故障の原因になります。

3 フィルターをセットする

ミル付きバスケットにフィルターをセットしてください。

注意）ミル付きバスケットの溝にフィルターが収まるようにセットしてください。

4 本体ふたを取り付ける

本体ふたの給水管を本体の給水口に差し込み、「カチッ」と音がするまで押し込みます。

⚠注意

本体ふたをしっかり取り付ける

取り付けが不十分だと給水ができず、故障の原因になります。

5 給水タンクに水を入れる

給水タンクふたを開け、ガラスサーバーのMAXラインまでの水道水（580ml）を入れます。給水後は、必ず給水タンクのふたを閉めてください。

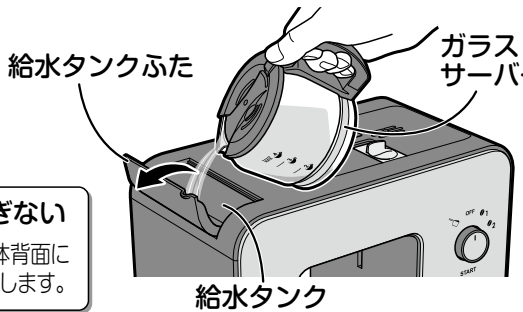
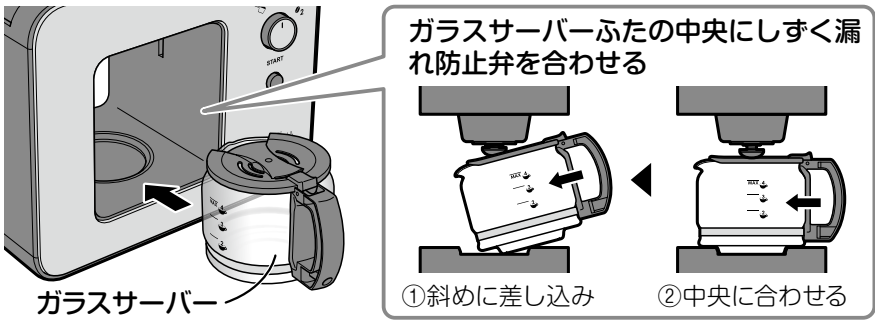
⚠注意

給水タンクふたは必ず閉める	給水タンクに水を入れすぎない
蒸気が吹き出してやけどの原因になります。	給水タンクに水を入れすぎると本体背面にあるオーバーフロー穴から水が流出します。

6 ガラスサーバーをセットする

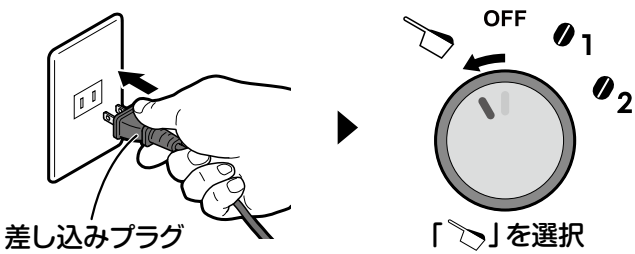
本体にガラスサーバーをセットしてください。

ガラスサーバーふたの中央にしずく漏れ防止弁を合わせる

①斜めに差し込み　②中央に合わせる

7 操作ダイヤルを「 」にする

差し込みプラグをコンセントに差し込み、本体の操作ダイヤルを「 」に回してください。

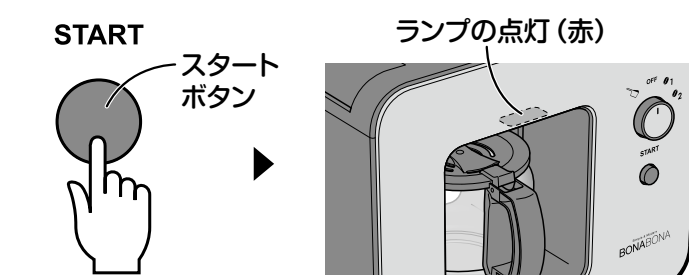
⚠注意

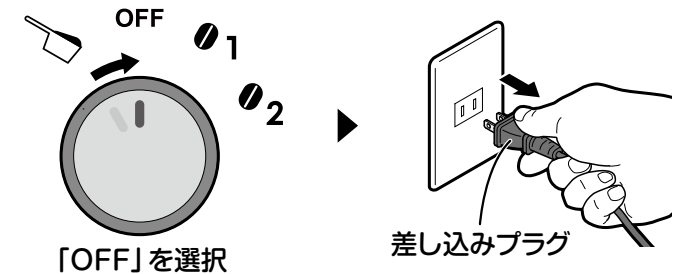
ぬれた手で差し込みプラグを触らない

感電の原因になります。

8 スタートボタンを押す

スタートボタンを押し、本体内側のランプの点灯(赤)を確認してください。

START　スタートボタン

ランプの点灯(赤)

9 ドリップが開始するのを確認する

しばらくするとドリップ(洗浄)を開始します。お湯が出なくなり、ドリップが完了したら操作ダイヤルを「OFF」に回し、コンセントから差し込みプラグを抜いてください。

⚠注意

長時間「 」のまま放置しない

空焚きになり、故障や火災の原因になります。

ドリップ中やドリップ後しばらくは高温部を触らない

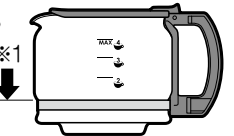
本体・各ふた・ドリッパー・保温プレートなど高温部に触れたり、顔などを近づけないでください。やけどの原因になります。

Point 樹脂のなどのにおいが気になる場合は、同じ手順で洗浄を行なってください。
繰り返し洗浄を行なう場合は、本体を冷まし(約10分間)ガラスサーバーのお湯を捨ててから行なってください。

ホットコーヒーの作りかた

コーヒー豆・コーヒー粉、水の量の目安

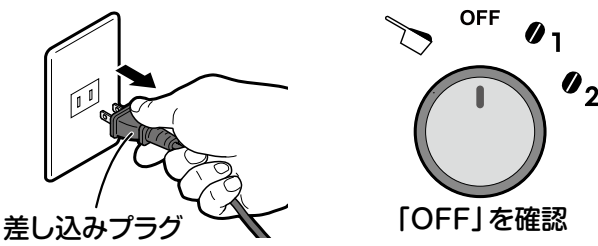
	杯数	コーヒー豆の量	コーヒー粉の量	水の量	コーヒーの出来上がり量※2 (1杯分:約120～130ml)	所要時間※3
1	1杯(計量スプーン)	約8g(1杯強)	約8g(1杯強)	150ml※1	約120ml	約2分20秒
	2杯(計量スプーン)	約16g(2杯強)	約16g(2杯強)	300ml 2	約260ml	約3分30秒
2	3杯(計量スプーン)	約24g(3杯強)	約24g(3杯強)	450ml 3	約360ml	約4分30秒
	4杯(計量スプーン)	約32g(4.5杯強)	約32g(4.5杯強)	580ml 4	約490ml	約5分30秒

※1 杯数1杯のときの水の量はガラスサーバーのバンドの上くらいを目安にしてください。
※2 コーヒー粉に吸収されるため、コーヒーの出来上がり量は多少減少します。
※3 所要時間はドリップにかかる時間の目安です。水温や室温等で多少変動します。
※ コーヒー豆・コーヒー粉の量はお好みにより加減してください。

付属計量スプーンの分量目安

計量スプーン1杯の分量	コーヒー豆:約7g コーヒー粉:約7g(すり切り1杯)

Point
・本商品ではコーヒー粉を使用の際は、粗挽き・中挽きの粉を使用してください。
・はじめてご使用になるときや、長期間使用していなかった場合は本体内部の洗浄を行なってください。(⇒7p参照)

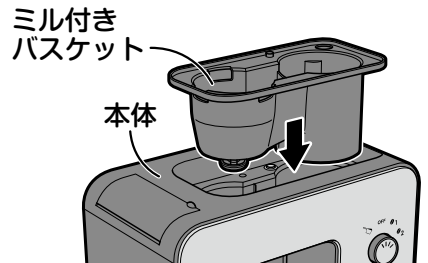
1 操作ダイヤルを「OFF」にする

差し込みプラグがコンセントに差し込まれていないことと、本体の操作ダイヤルが「OFF」になっているか確認してください。

2 ミル付きバスケットをセットする

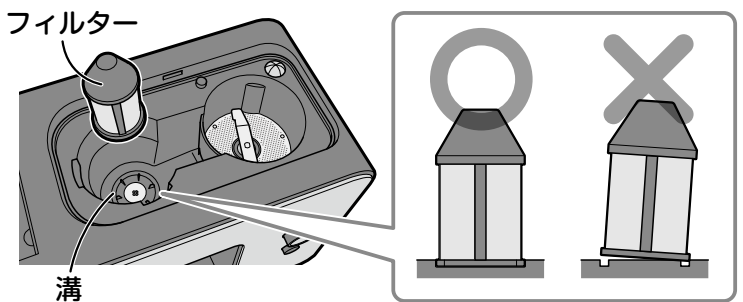
ミル付きバスケットを本体にセットしてください。

⚠注意

ミル付きバスケットを必ず取り付ける

本体内に水が漏れ、故障の原因になります。

3 フィルターをセットする

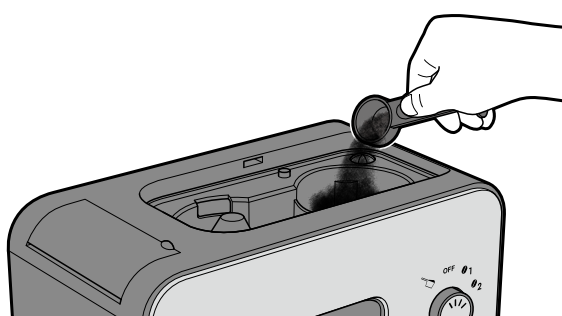
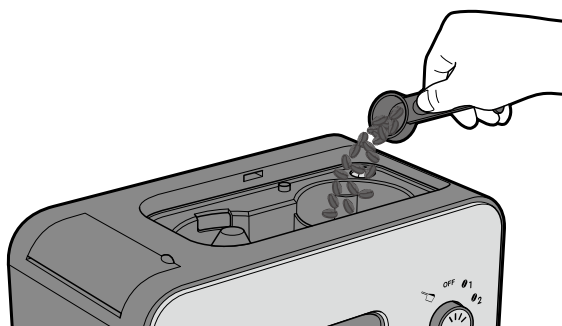
ミル付きバスケットにフィルターをセットしてください。

注意)ミル付きバスケットの溝にフィルターが収まるようにセットしてください。

4 コーヒー豆・コーヒー粉を入れる

ミル付きバスケットのミル側に
コーヒー豆･粉を入れてください。
計量スプーンなどで適量を入れて
ください。（⇒9p 参照）

⚠注意

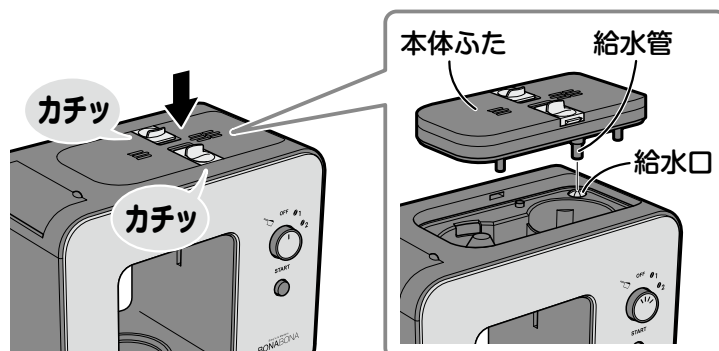
カッターの刃には触れない

けがの原因になります。

5 本体ふたを取り付ける

本体ふたの給水管を本体の給水口
に差し込み、｢カチッ｣と音がする
まで押し込みます。

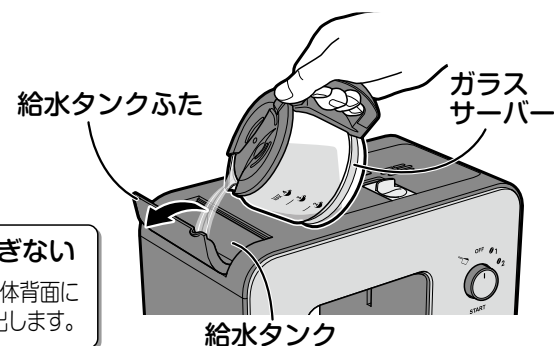
⚠注意

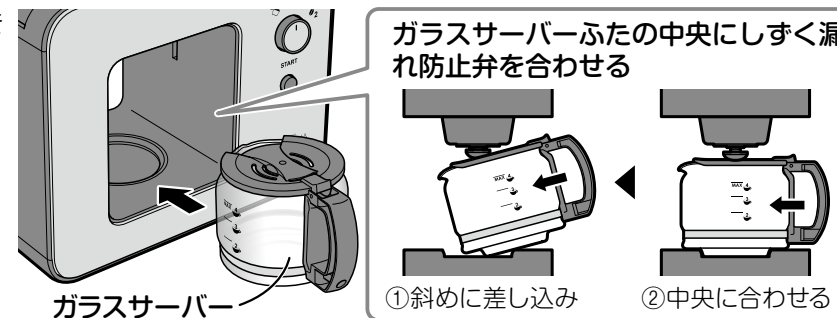
本体ふたをしっかり取り付ける

取り付けが不十分だと給水ができず、
故障の原因になります。

6 給水タンクに水を入れる

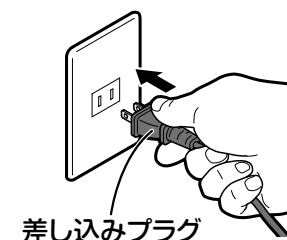
給水タンクふたを開け、ガラスサーバー
または計量カップで水を入れます。
給水後は、必ず給水タンクのふたを閉
めてください。

⚠注意

給水タンクふたは必ず閉める	給水タンクに水を入れすぎない
蒸気が吹き出してやけどの原因になります。	給水タンクに水を入れすぎると本体背面にあるオーバーフロー穴から水が流出します。

7 ガラスサーバーをセットする

本体にガラスサーバーを
セットしてください。

8 コーヒーを入れる

差し込みプラグをコンセントに差し込
みます。

⚠注意

ぬれた手で差し込みプラグを触らない

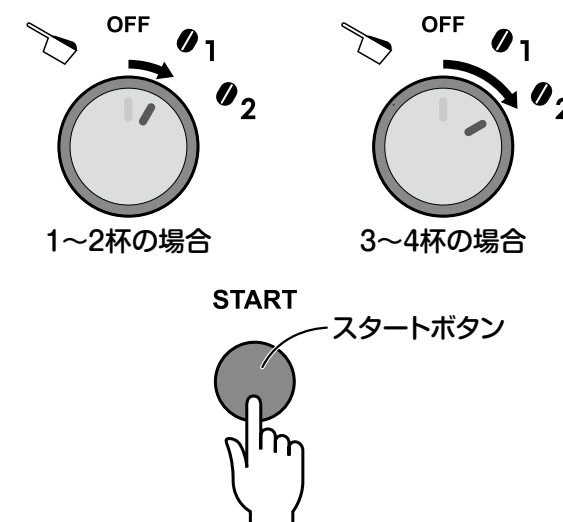
感電の原因になります。

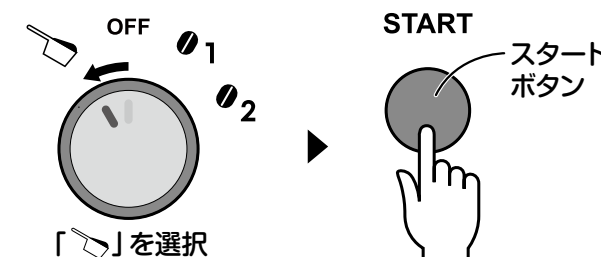
コーヒー豆の場合

①操作ダイヤルを右側に回し、杯数に
　応じて「 1 」または「 2 」に合
　わせます。

②スタートボタンを押します。
　本体内側のランプが点灯（青）し、ミ
　ルが作動します。
　コーヒー豆が挽き終わると、ランプが
　消灯し、ミルも自動的に止まります。

注意）コーヒー豆の挽きはじめは大きな音がなります。

③本体内側のランプが点灯(赤)し､ド
　リップが自動的に開始されます。

コーヒー粉の場合

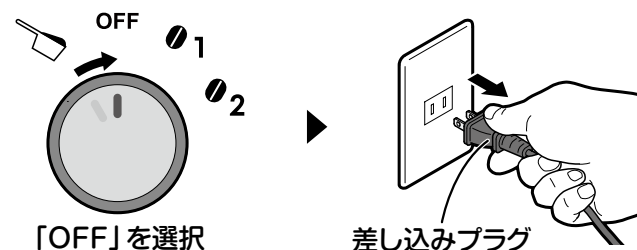
操作ダイヤルを回し､「 」を選びス
タートボタンを押します。
本体内側のランプが点灯(赤)し､ドリッ
プが開始されます。

9 操作ダイヤルを「OFF」にする

お湯が出なくなり、ドリップが完了したら操作ダイヤルを「OFF」に回し、コンセントから差し込みプラグを抜いてください。

⚠注意

ぬれた手で差し込みプラグを触らない
感電の原因になります。

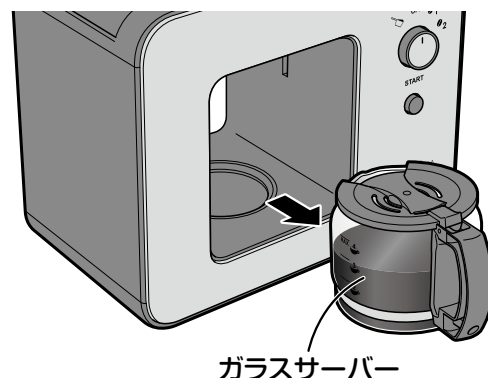
保温プレートは触らない
自動保温が終了後もしばらくは、高温となりやけどの原因になります。

長時間「 」のまま放置しない
空焚きになり、故障や火災の原因になります。

Point 操作ダイヤルを「OFF」にしても、保温プレートはドリップ開始から30分間は自動保温状態となります。
ただし、保温中に本体ふたを開けると電源が切れ保温しなくなります。本体ふたを閉めても保温は再開しませんのでご注意ください。

10 ガラスサーバーを取り出し、コーヒーを注ぐ

本体から、ガラスサーバーを取り出し、カップなどに注ぎます。

注意）ドリップ直後のガラスサーバーは熱くなっています。ガラス部分には触れないようご注意ください。

ガラスサーバー

11 お手入れをする

本体が冷めたことを確認してからお手入れをしてください。(⇒14p参照)

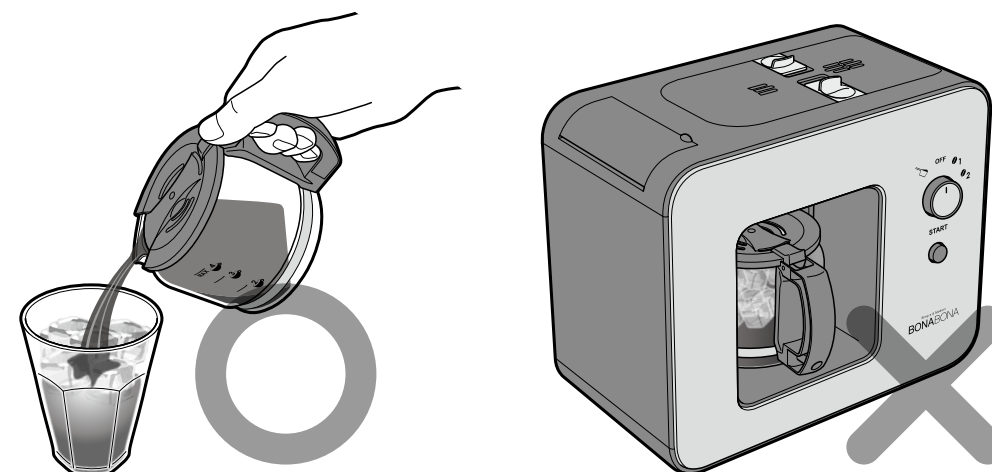
⚠注意

ドリップ中やドリップ後しばらくは高温部を触らない
本体・各ふた・ドリッパー・保温プレートなど高温部に触れたり、顔などを近づけないでください。やけどの原因になります。

アイスコーヒーの作りかた

「ホットコーヒーの作りかた」（⇒9p参照）と同様の手順で作ります。

Point
・アイスコーヒーはアイスコーヒー用の豆・粉を使用してください。
・ホットコーヒーより濃い目にドリップしてください。(⇒8p参照)
※コーヒー豆・粉の量はお好みにより加減してください。

注意）ガラスサーバーに氷を入れてドリップすると、コーヒーが溢れ出すおそれがあります。
ドリップしたコーヒーを氷を入れたグラスに注いでください。

コーヒーをおいしく味わうために…

コーヒーの賞味期限は？
購入したパッケージに記載されている賞味期限を守ってください。
一度開封した場合、コーヒー粉（挽いてあるコーヒー）なら7〜10日程度、豆のままの場合、1ヶ月程度で飲みきるようにしてください。

コーヒーの保存方法は？
外気に触れないようにしっかりと口を閉じ、酸素や高温、湿気などを遮断できる冷暗所か冷蔵庫などで保存してください。

ドリップしたコーヒーは保存できる？
ドリップしたコーヒーは、時間が経つと香りが失われたり、酸味が強くなったりしてしまいますので、飲む分だけ作ることをおすすめします。

お手入れ

⚠注意

- お手入れを開始する前に、差し込みプラグがコンセントから抜けていることを、必ず確認する
- 本体などが高温になっていないか必ず確認する
- 電源コードが損傷していないかを定期的に点検する
- 使用後はすぐにお手入れを行なう
  コーヒー粉が酸化し、次に使用するときにコーヒーの風味を損なう原因になります。
- 40℃以下のお湯または水を使用する
  40℃以上の高温のお湯を使用すると変形・変色の原因になります。
- 食器洗い乾燥機は使用しない
  食器洗い乾燥機を使用すると破損・変形の原因になります。
- シンナー、ベンジン、アルコール、みがき粉などは使用しない
  変色や故障の原因になります。
- ドライヤー、アイロン、乾燥機などを使って乾燥させせない
  熱により変形することがあります。
- ぬれたまま本体に取り付けない
  乾燥させずに使用すると故障の原因になります。

本 体

水を含ませ、固く絞ったやわらかい布で汚れをふき取ってください。

⚠警告

本体・電源コード・差し込みプラグには水をかけたり、水につけたりしない

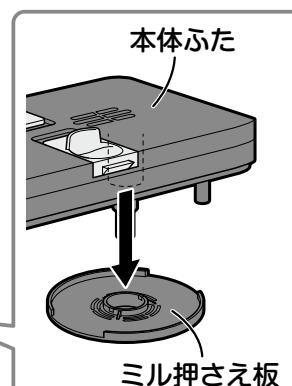
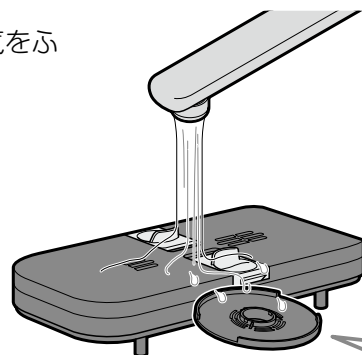
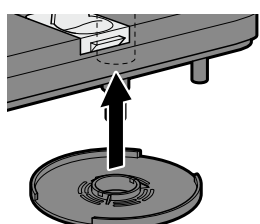
感電の原因になります。

本体ふた

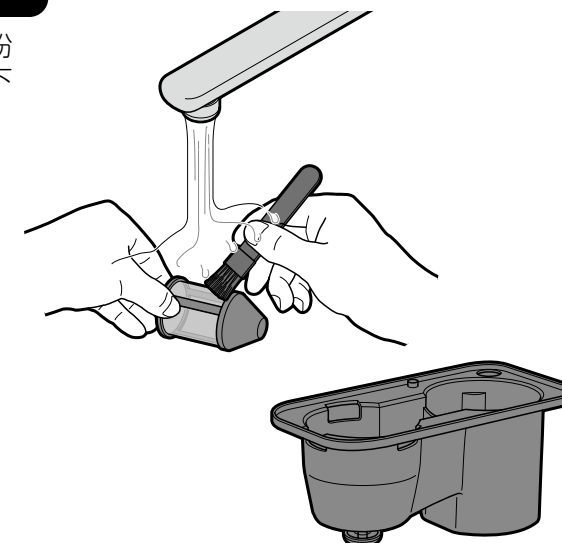
本体ふたからミル押さえ板をはずし、水か40℃以下のお湯でよく洗い流してください。
本体ふたの内部に入った水気を抜き、水気をふき取り十分に乾燥してください。

⚠注意

取り付けの向きに注意する

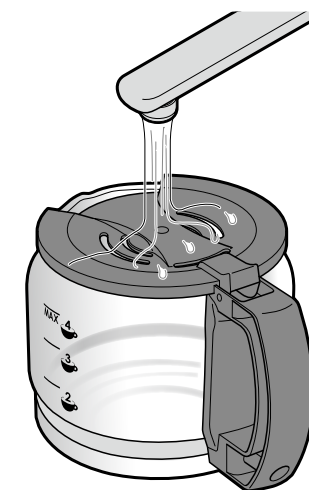
ミル押さえ板の上下の向きを間違えると、お湯がコーヒー粉全体に行きわたらなくなります。

ミル付きバスケット、フィルター

コーヒー粉を捨てたあと、残っているコーヒー粉を付属のお手入れブラシを使って、水か40℃以下のお湯を流しながらよく洗い流してください。
水気をふき取り、十分に乾燥してください。

⚠注意

カッターの刃には触れない

けがの原因になります。

ガラスサーバー

スポンジに中性洗剤をつけて洗い、水か40℃以下のお湯でよく洗い流してください。
水気をふき取り、十分に乾燥してください。

ドリップの時間が長くなった場合

購入時に比べ、ドリップの時間が長く感じた場合は本体内部に水あかが付着し、水の流れが悪くなったのが原因です。その場合、水の中に小さじ0.5杯（約1.5〜2g）のクエン酸を加えてよく混ぜてください。
クエン酸入りの水を給水タンクに入れたあとは、7ページからの手順でドリップしてください。
その際、クエン酸のにおい移りを防ぐため、フィルターははずしてください。
ドリップ完了後、水を捨てて水のみで2〜3回ドリップし、クエン酸を流してください。
ドリップの時間が改善されない場合は、クエン酸の水で数回ドリップしてください。

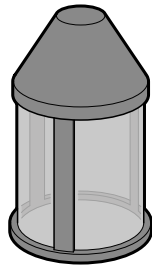
※一度使った水またはクエン酸入りの水は捨ててください。
※繰り返しドリップする際は、本体などを冷ましてから（約10分間）行なってください。

故障かな!?と思ったら

修理サービスを依頼される前に、次のことをお調べください。

こんなときは	調べるところ	直しかた
・スタートボタンを押しても運転しない	・本体ふたが正しく取り付けられていない ・操作ダイヤルが「OFF」になっている ・差し込みプラグが抜けている	・本体ふたを正しく取り付ける 7,10p参照 ・操作ダイヤルを「1」・「2」または「」にする 8,11,12p参照 ・差し込みプラグをコンセントに差し込む 8,11p参照
・コーヒーがガラスサーバーの外にドリップされる	・ガラスサーバーを正しくセットしていない ・ガラスサーバーのふたにしずく漏れ防止弁がセットされていない	・ガラスサーバーを正しい位置にセットする 8,10p参照 ・しずく漏れ防止弁を正しい位置にセットする 8,10p参照
・ガラスサーバーから水、コーヒーがあふれる	・水の量が多い ・ガラスサーバーに氷を入れてドリップしている	・水の量を減らす 9p参照 ・ガラスサーバーから氷を取り出す 13p参照
・コーヒーがフィルターに詰まっている	・コーヒー豆を細挽きに挽いている ・細挽きのコーヒー粉を使用している	・コーヒー豆を粗挽き・中挽きに挽く ・粗挽き・中挽きのコーヒー粉を使用する 10p参照
・ドリップができない	・コーヒー豆・粉、水が入っていない	・コーヒー豆・粉、水を入れる 10,11p参照
・ドリップの時間が長い	・水あかが付着している	・水あかを取り除く 15p参照

修理を依頼される場合は「保証とアフターサービス」（巻末）をご覧ください。

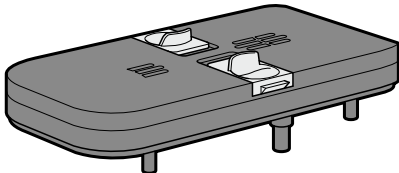
仕　様

品　番	BZ-MC81
消費電力	800W
電　圧	100V 50/60Hz
保温装置	有り（ドリップ開始から30分間）
容　量	580ml
抽出方式	ドリップ式
外形寸法	幅286×奥行き161×高さ245mm
重　量	2.6kg（本体ふた、ガラスサーバー、ミル付きドリッパー、フィルターを含む）
電源コードの長さ	約0.8m
付属品	本体ふた、ガラスサーバー、ミル付きドリッパー、フィルター 計量スプーン、お手入れブラシ

消耗品/交換部品

消耗・交換部品を依頼される場合は「保証とアフターサービス」をご覧ください。(⇒巻末参照)

◎消耗品

フィルター

EX-3684-00

お手入れブラシ

EX-3685-00

◎交換部品

本体ふた

EX-3686-00

ガラスサーバー

EX-3687-00

ミル付きドリッパー

EX-3688-00

計量スプーン

EX-3689-00

キリトリ線

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   （イ） 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本書をご提示ご持参いただきお申しつけください。
   （ロ） お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、当社サービスセンターにご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げ販売店または当社サービスセンターにご相談ください。
3. ご贈答品等で本書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、当社サービスセンターにご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
   （イ） 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   （ロ） お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
   （ハ） 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
   （ニ） 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
   （ホ） 一般家庭用以外（例えば、業務用としての使用）に使用された場合の故障及び損傷
   （ヘ） 本書のご提示がない場合
   （ト） 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書をご覧ください。
※This warranty is valid only for Japan.